

令和6年度 第1回 郡上市男女共同参画推進審議会 要録

日 時 : 令和6年8月26日(月) 午後1時30分～午後3時15分
場 所 : 郡上市八幡防災センター1階研修室
出席者 : 山下優子会長、小林久人副会長、和佐田裕昭委員、谷口天馬委員、宮崎倫明委員、直井将人委員、林美恵委員、田中伸次委員、加藤環江委員、河合丙仁委員、白田啓子委員、常平毅委員、尾藤望委員
欠席者 : 石井敦子委員、山田佳代子委員
事務局 : 市長、河合市長公室長、鷺見企画課長、北田係長、片桐主事

1. 開 会 (企画課長)

2. 委員委嘱 (郡上市長)

3. 市長挨拶

市長： 男女が持つ権利は同じであり、男女共同参画について前向きに考えることが郡上市の発展に繋がっていくと考える。郡上市が人口減少に陥っている中、性別に限らず、若者と年配の方も同様に働いていただくことが重要である。こういった社会が実現することにより、家庭での活気、また地域での活力がさらに向上し、男女に捉われることのない良い環境になっていくと思うので、皆様からご意見いただきながら進めていきたい。

4. 自己紹介 (委員、事務局の順に自己紹介)

5. 会長・副会長選任 (事務局案により、会長に山下優子委員、副会長に小林久人委員を選任)

会長： 委員の皆様のご自己紹介を聞いて、郡上市をもっと盛り上げたいという思いを感じた。老若男女関係なく意見をいただき、楽しい会議にしたい。

6. 議事

(1) 第3次郡上市男女共同参画プランについて

事務局： (資料①及び資料②に沿って説明)

(2) 市民アンケートの中間報告及び第4次男女共同参画プラン策定について

事務局： (資料③及び、別紙参考①②③に沿って説明)

事務局： 只今事務局から説明した第4次男女共同参画プランの策定方針について、皆様に審議いただきたい。資料③には岐阜県男女共同参画推進計画第5次及び第3次郡上市男女共同参画プランを記載している。比較すると、県計画には地域づくりに関することが含まれているが、市プランには記載が無いことが分かる。防災については、市プランに記載はあるが内容は県に比べ少ない。そういった比較をし、市プランを土台としながら策定していきたい。目標指標は、今年度実施したアンケートの集計結果を分析したうえで検証・設定していく予定である。また、市プランでは、「女性活躍推進計画」「DV防止基本法」を基本目標において市の推進計画と位置付けているが、県に倣い基本方針に落とすことも考えている。計画書自体もあまり細かくなりすぎないようにし、実施計画の中で具体的に進捗を図っていくようにしたい。第4次プランの骨格については次回諮問させていただく。また、資料③に策定までのスケジュールを示した。今後は、事務局と庁内研究会で検討したものを審議会に提案し、審議いただくことを繰り返して策定していく予定である。

会長： 質問はあるか。

- 委員： 県の計画に変えるわけではなく、市の現行プランをベースに策定していくという
ことで良いか。
- 事務局： 市の現行プランには特徴があるため、これを基本としたうえで県計画と比較し不
足する事項を加えていく方針である。
- 委員： 県計画の柱3の取組みのうち「科学技術・学術分野における男女共同参画の推
進」が新たに追加されているが、具体的にどんな内容か知りたい。また、別紙参
考③において、「市に無し」の欄に○がないが市プランのどれに該当するのか。
- 事務局： 「市に無し」に○が無いのは間違いである。市プランに該当する事項は無い。取
組みについて県計画書には「科学技術・学術分野における政策・方針決定過程へ
の女性の参画を推進します。」「女子学生・生徒の理工系分野への関心、理解を
高めるため、県内大学と連携して、女性研究者等のロールモデルの紹介など、進
路選択の支援をします。」とある。具体的な事業などの取組みは分かりかねる。
- 委員： 男女共同参画に関する事業はどれも大事な取組みであり、推進することは素晴ら
しいことであると思っている。しかし、その中でも郡上市として「まずはこの課
題を解決したい」「予算を投じているが効果が無い」というものをピックアップ
したり、審議会委員それぞれ活動している場が違うため、どの委員にどの分野に
ついて審議してほしいかを提示したりしてもらえると、委員として意見が出しや
すい。
- 事務局： 今後策定作業をしていく中で、集中的に審議する事項について委員に示すことが
できるよう準備していきたい。例えば、女性の視点を取り入れた避難所運営や防
災は郡上市だけの課題ではなく、社会全体での課題となっているためプランに取
り入れるが、市の実態を踏まえどう取り組むべきなのかは、近い分野で活動して
いる委員からの意見を聞き検討していく必要があると思う。先ほど常平委員から
「女性の自治会長が少ない」という話があったが、そういった現状を聞きなが
ら、郡上市に必要なことを議論していきたい。
- 委員： プランの説明の中で「自らの意思で」という言葉が出てきたが、これが非常に難
しい問題であり、男女共同参画を妨げているように感じる。「参画しない」とい
うことも自らの意思であるため、意思決定の段階に参加することをこちらから誘
っても、自らの意思で断ってしまうこともある。政策的な面は進んでいるが、そ
れだけでなく参画したいという気持ちが醸成できるような活動も重要であるよう
に思う。
- 事務局： 自らの意思で参画しないという選択肢を取らないようにということであるが、男
女に関わらず個人のどんな能力を期待して、なぜ必要なのかということ伝えて
いくことで、様々な組織に参加するきっかけを作っていくことが必要であり、参
加してもらえれば新たな意見が生まれると思う。まずは参加してもらうことを目
指し、その後の参画に繋がる仕組みができればと思う。

7. そ の 他

- 事務局： アンケート結果は現在集計中であるため、次回の審議会での報告を予定してい
る。本日の議題に関わらず、皆様がそれぞれの立場で身近に感じたことなどがあ
れば、ぜひこの場で聞きたい。
- 委員： 能力がある人に仕事が集中することで、断らざるを得ない状況にしてしまうこと
は避けるべきである。また、家庭の事情を理由に断る女性はまだ多い。そうなる
と、仕事を減らしていくことも考えていくべきである。
- 事務局： 人手不足の中で仕事が減っていかないと、男女に関わらず一人に仕事が集中す
ることになる。これは男女共同参画だけではなく全ての分野において課題になっ
ていくことである。解決策があれば聞きたい。
- 委員： 少子化や人手不足の中で、コロナ禍を経たことにより余分な仕事が削られていっ
たのは良い事である。また、女性に限らず外国人も含め、多様性としてどこまで
許容できるかが大事であり、組織が存続できるかが決まると思う。何か解決策が
あればいいが。

- 委員： PTA においても、コロナ禍をきっかけに色々なことが省かれるようになった。それでも役員のみならず苦勞している。私を含め、今集まっている人達は本当に楽しく活動している。しかし、大変そうというイメージが先行してしまい関わること自体を拒否されることもあるため、楽しさややりがいがあることを伝えたいと思っている。白鳥小学校では、役員は立候補制であり、行事もスマホで出欠を取る仕組みになっている。そのように、今までと違う方法で進めていくことが大事だと思う。私自身も子育てをしてきた中で、この十数年間で意識が大きく変わったように感じる。昔の感覚で進めていると時代遅れになるので、今現在関わっている人の意見を聞いていくことが必要である。
- 事務局： やはり数年前と比べ子育てへの男性参加が増えていると実感する。また、コロナ禍を経て会議の在り方も変わり、開催時間が早まったり、所要時間も短くなったりしている。現代の流れに合わせて、この審議会も効率的に進めていきたい。
- 委員： 私が PTA に関わっていた頃は、男性が役員になるのが当たり前であったイメージがある。先日、大和小へ防災関係の支援で伺ったら、PTA 会長が女性で驚いた。そういった現実を見ると、男女関係無く皆さん頑張っているように感じる。
- 委員： 自治会だと、どうしても地域の慣習やしきたりに縛られることが多いため、女性の参加が難しいと感じる。自治会長となるとハードルが高いため、まずは副会長など他の役員になってもらうなど、どうにかして女性に参加してもらえると良いと思う。ある程度の年代からは昔からの考え方もだいぶ変わってきているのではないかと思う。
- 委員： 自治会の役員に積極的に女性を推薦してもらえるとありがたい。
- 事務局： いただいた意見を新プラン策定の参考にしたい。

8. 閉 会 (15:15 閉会)